



# 露禊、 御神楽の舞

## 今治市 大三島 大見神楽保存会

大見神楽。神に人々の祈りを捧げるため、毎年旧暦の 1 月 12 日前後の日曜日にこの集落で神楽が行われる。神楽は舞太夫が列をなして神殿入りするところから始まる。神殿に入って最初の舞は「露禊」と呼ばれ、猿田毘古神を模した天狗の面をかぶった舞太夫が 1 人で舞う。刀で邪気を切りながら舞う姿は非常に勇壮であり、その迫力は一気に場の空気を変える。その後神殿を清め、しめ縄を張って神を迎え入れると、陣羽織を着た 4 人の舞太夫が東西南北そして天地に矢を放ち、四方を祓い清める。そして最後には舞上げを行い神楽が終わると、人々は使った道具を持ち帰り、家の魔除けとして祀る。こうして神々はこの地におさまり、人々の生活を見守っている。神楽は集落の住民の生活とともにあるのだ。

えひめ瀬戸内LINKプロジェクト

愛媛県立今治北高等学校大三島分校 × 愛媛大学井口梓研究室 × 東予歴史文化協議会